

目標達成計画

作成日: 平成 26年 8月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	グループホームの理念が全スタッフに浸透していない状況にある。現在8項目からなる理念となっているため、具体的なホームの方向性などが明確になっていない。(意識の共有等も十分にできていない)	具体的な理念を掲げる事で、ホームやケアにの方向性を明確にし、スタッフ間で意識を共有できる。	フロアカンファレンスやホームの全体会議を通してスタッフの意見を反映した理念(目標・テーマ・ビジョン)を作る。作成した理念をフロア内に掲示し入居者様・ご家族・外部の方の目に触れるようにする。	3ヶ月
2	10	介護計画の作成は行っているが、内容の周知が十分に出来ていないためプランに基づいた記録の作成が行えていない。(作成後の計画内容を周知させるための工夫がない)	スタッフの目に触れやすい場所に作成後の計画内容を設置し、計画に基づいて行った内容のケアに関しての記録が行えるようになる。	個人の介護記録ファイルに計画内容を掲示する。カンファレンスを通して介護計画についてのアナウンスを継続して行う。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。